

9月の授業記録をお送りいたします。

金風の候——ご父母各位におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

季節の移ろいというものは大変早いもの。気づかぬうちに秋もすっかり深まってまいりました。通りを吹き抜ける夜風は、日を追うごとに肌寒く感じられます。紅葉の時節までまだ日があるとはいえ、やがて武蔵野の山並みも彩り豊かに美しく染まってゆくことでしょう。

さて、今月は所沢市内の多くの中学校で「定期試験」が行われることと存じます。個別指導会講師陣一同、在塾生のみならず1点でも良い点数を取れるように全力でバックアップしてまいります。定期試験一週間前より各校舎にて連日「定期試験対策」を実施しておりますので、ぜひ積極的に塾へ来室するようお子様にお声かけをお願い申し上げます。

また、下記にもございますように、**今月から来月にかけて、当塾では受験生のご父母を対象にした「個別面談」を行わせていただきます。**お忙しい中かとは存じますが、各位多数の出席をお待ち申し上げます。



■塾からのご案内■

① 高校入試ガイダンスを実施いたしました。

10月15日(土)・16日(日)に、個別指導会の各校舎にて、高校受験生のご父母を対象にした「高校入試ガイダンス」を実施いたしました。各位多数のご参加、まことにありがとうございました。

② 高校受験生のご父母を対象に、「個別面談」を実施します。

10月下旬から11月中旬にかけて、高校受験生のご父母を対象に「個別面談」を実施いたします。各種の詳細な資料をもとに最新の受験情報をお伝えしながら、お子様の志望校選定をサポートしてまいります。別紙にてご案内をお送りしますので、詳細はそちらをご覧ください。

③ 中学生対象 土曜無料補講・定期試験対策 実施中。

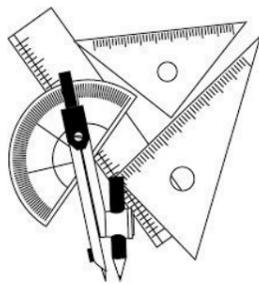
原則毎週土曜日、各校舎で「土曜無料補講」を、また定期試験の1週間前より連日無料で「定期試験対策」を実施しております。とりわけ高校受験生にとっては大変重要な試験です。個別指導会の講師陣一同が全力でバックアップしていきますので、ぜひ積極的にお子様を来室させてください。

※ なお、それぞれの実施時間等は各校舎によって異なりますので、詳細はお子様のご通塾する各教室までお問い合わせください。

学習のアドバイス

今回のテーマは数学の「証明問題」です。「証明問題」に強くなるコツは2つあります。

1つめは“問題文の図をノートに丁寧に作図する”ということです。証明問題では、多角形や線分が重なってできている図を、まずは分解して考え、それからもう一度組み立てて考えるという力が必要になります。作図をするには、複雑な図形を単純な多角形と線分に分解しなければなりません。さらに、頂点や交点に着目して、組み立て直す必要があります。つまり、作図をするということは、証明問題を解く力を自然に身に付ける作業をしていることとなりますので、是非実践してみてください。ただし、いくつか注意点があります。三角形を作図するとき、特に指示がなければ直角三角形や二等辺三角形、正三角形を書いてはいけません。四角形を作図するときも、平行四辺形や正方形などの特別な四角形を書かないでください。また、右利きの人はノートの左半分に作図をして、右半分に説明を書きましょう。そうすると、自分の腕で、図が隠れてしまうことはなくなります。左利きの人は、この逆になります。作図が苦手な人には、横罫線の大学ノートよりも、縦と横に線が入った方眼ノートをお勧めします。



2つめは“仮定と結論を色分けする”ということです。証明問題を考える手順は、大まかにいって、次の2段階に分かれます。

- ① わかっていること(仮定)は何かと証明すべきこと(結論)は何かを明らかにする。
- ② なぜそのようなことがいえるのか、その理由を考える。

証明問題のメインは②ですが、その手掛かりとなるのが①ですから、決して疎かにしてはいけません。最初に問題の図を丁寧に作図して、その図に仮定と結論を別々の色で書き込みましょう。それからその図の下に、図に書き込んだ色と同じ色で、記号を使って仮定と結論を書きます。こうしておけば、図の特徴が一目でわかります。さらに、共通や辺や角などがあれば書き込みをしてください。証明が苦手な人も、この書き込みがすんだ図を見ながら証明を書いていけば、抵抗感が和らぐはずですよ。



平成 29 年度入試の展望 ②

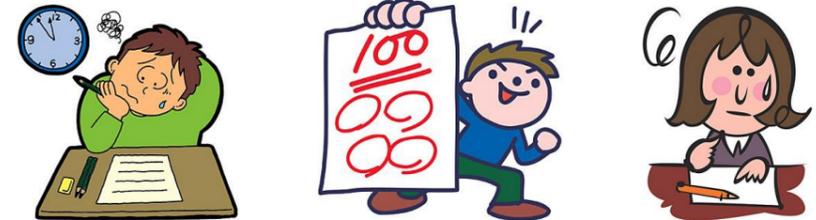
前は県立高校の人気についてお話ししましたが、いかがでしたでしょうか。今回は私立高校の推薦基準についてお話しさせていただきます。

平成 24 年度に県立高校の入試が一本化されて以降、私立高校全体の入学者数は増加傾向にあります。それに伴って、推薦基準も年々厳しくなってきました。今年度もほとんどの学校の推薦基準が横ばいか、あるいは上昇しています。その概要につきましては、ガイダンスおよび個別面談で説明いたしますが、詳細は学校説明会および個別相談会に参加をして確認していただきたく思います。

推薦には内申による学校推薦と、偏差値による自己推薦がありますが、特にどちらが有利ということはありません。また、基準の数値はその学校の合格者の平均値に基づいて決められます。目安としては偏差値 50 で内申 9 科 30 ぐらいとお考えください。そして、特に注意していただきたいのが、前年度の入学者数です。私立高校は県立高校と違い合格者が必ずしも入学するわけではありませんので、入学者数が募集定員を大幅に上回ってしまった場合には、人数を調整するため基準が厳しくなる可能性があります。少しでも不安や疑問をもたれた場合には、各教室長に必ず相談してください。



教室長日記



この時期、多くの中学校・高校で第2学期中間試験が予定されています。高校生のみならず、すべての定期試験が勝負の場、という意識だと思えるので、ここで今更あれこれ言わなくてもいいかと存じます。納得のできる結果を出してください。

さて、中学生の皆さん。「『中間』試験だから」「期末試験の方が重要」などと、侮ってはいませんか？

今回の試験は、目先の結果だけでなく、将来をも左右しかねないほど重要です。

注目すべきはその範囲です。今回、数学・英語で出題される可能性の高い単元を学年毎に挙げてみますと、

**1年:方程式、比例・反比例/主語が3人称単数の時の一般動詞の文 2年:1次関数/接続詞、不定詞
3年:2次方程式、2乗に比例する関数/間接疑問文、後置修飾**

どれも高校入試で頻出、かつ差の付きやすい重要単元です。つまり、今しっかりと身に付けておけば入試本番で得をする可能性が高くなる、という内容ばかりなのです。入試で高得点を取れるかも、という期待を込めてこれらの学習に動んでください。そうすればもちろんテストでもいい結果が出て、内申点も上がり、目標達成にグッと近づくことでしょう。

もちろん、当面定期試験の予定がない皆さんも、次の試験で上記の単元から出題されるものがあるでしょうから、今のうちに理解を深めておきましょう。

「うわあ、忘れてる…どうしよう」と思ったら、ぜひすぐに先生に気軽に質問しに来てください。特に来年受験本番を迎えるみなさん、どんどん自習に来て問題に慣れてください。強気にサポートします。

(航空公園校 安達)